



チャバネアオカメムシの発生に注意！

茨城県病害虫防除所 病害虫発生予報 4月号 (令和6年)
防除所レポート yr0604chabaneettouryou.pdf (pref.ibaraki.jp)より抜粋

県病害虫防除所では、ナシ、カキ、リンゴなどの重要害虫であるチャバネアオカメムシ（写真）の越冬数の調査を行っています。本年2月上旬頃に山林の表層土を含んだ落葉を1地点当たり30リットル採取し、チャバネアオカメムシ成虫の越冬数を調査しました。落葉の採取は常陸太田市、水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、行方市、鉾田市、石岡市、つくば市、桜川市の合計42地点で行いました。

その結果、越冬成虫数(本年値 9.7 頭、平年値 1.9 頭)は平年より多く、越冬地点率(本年値 86%、平年値 40%)は平年より高くなりました(表)。

本年を含む過去11年間の越冬状況の推移をみると、越冬成虫数・越冬地点率ともに多い年と少ない年を交互に繰り返しており、**本年は多い年にあたります(図1)。**そのため、**越冬世代成虫の果樹園への飛来数(4~7月)は、平年より多いと予想されますので、注意が必要です。**

病害虫防除所では果樹カメムシ類について、予察灯調査(4~10月)や、サクラ果実における発生量調査(4~5月)を行いますので、今後発表する情報を参考にしてください。



表 チャバネアオカメムシの越冬状況

調査項目	令和6年2月		平年 調査値
	調査値	順位 ²⁾	
越冬成虫数(頭) ¹⁾	9.7	1位	1.9
越冬地点率(%)	86	1位	40

1)成虫数/落葉30リットル当たり
2)本年を含む過去11年中の順位



写真 チャバネアオカメムシ(成虫)

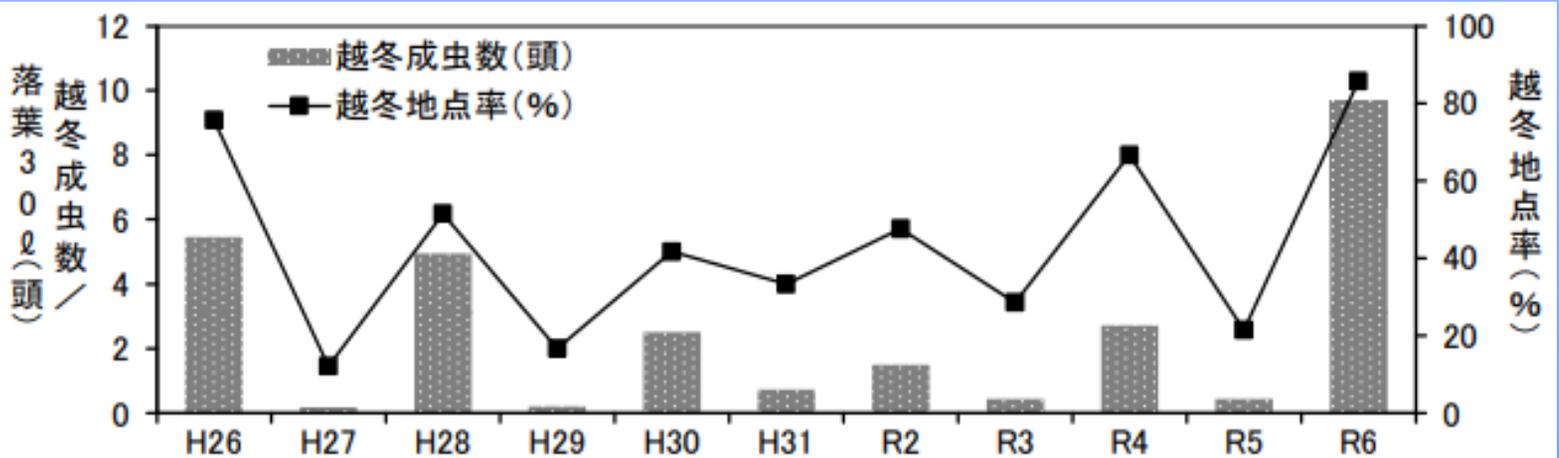


図1 チャバネアオカメムシの越冬成虫数及び越冬地点率の年次変動

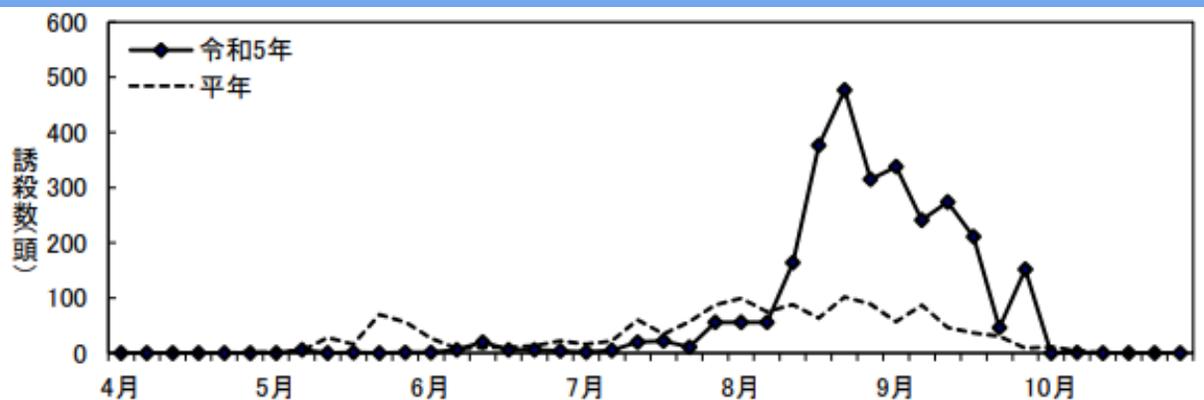


図2 チャバネアオカメムシの予察灯への誘殺数(かすみがうら市)

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 NEWS は J A 全農いばらき ホームページでもご覧になれます。